



中之町幼稚園だより

令和 8 年 4 月 号

港区立中之町幼稚園

園長 酒井正美

暖かな陽射しの下、園庭や周辺の木々にはたくさんの花が咲き、緑がぐんぐんと広がってきています。明るい園舎、広々とした園庭がある中之町幼稚園。子供たちの健やかな成長のため、保護者の皆様、地域の皆様と共に、教職員一同、力を尽くしてまいります。今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

—自分が大好き、友達が大好き、みんな笑顔の幼稚園—

令和 8 年度の中之町幼稚園は、3歳児 27名、4歳児 36名、5歳児 37名、全園児100名、6学級となります。「港区こども誰でも通園制度」を利用して、週2日通う2歳児 9名の子供たちも加わり、賑やかにスタートをいたします。

中之町幼稚園では、幼児期の学びに適した、遊びを通した学び「遊びは学び 学びは遊び」を主体に、「人・もの・こと」に自ら進んで関わりながら、豊かで多様な体験を通して、小学校以降の学びの基礎となる、様々な「学びの芽」を育てていきます。

また、人と直接関わる多様な体験から、気づき、考え、自分で決めて行動する幼児、自分も相手も大事にする幼児を育てる教育を進め、子供、保護者、地域、教職員の笑顔があふれる幼稚園となるよう取り組んでまいります。

今年度は、下記のこと重点を置き、教育活動を進めます。

【意欲的に遊ぶ(学ぶ)幼児を育てます】

令和7年度に「意欲的に遊ぶ幼児を育てる～豊かな遊びがあふれる園庭環境の工夫～」を主題に、東京都教育委員会体育健康教育推進園及び港区教育委員会研究奨励園の実施を通して学んだことを基盤に、主体的に幼児が遊ぶ(学ぶ)環境の工夫を継続します。また、講師を招き、様々な体を動かして遊ぶ楽しさを味わい、日常の活動の中でそれらの楽しさを継続し、自ら体を十分に動かそうとする意欲や進んで運動しようとする態度を育てます。赤坂学園の校庭、体育館等の施設をお借りし、のびのびと体を動かす機会を日常的に設けます。

【国際理解教育の基礎を育みます】

港区の国際理解教育が目指す「真の国際人」の育成に向け、共生、伝統、言語の視点から、幼児期に育てたい力を育みます。

日本の文化や伝統的な行事の経験を丁寧に行い、親しみをもつようにします。日本語の楽しさや美しさに気付くようにし、言葉に対する感覚を豊かにしていきます。

日常の遊びの中でネイティブティーチャーに親しみ、英語に触れたり英語で表現したりする機会をつくります。また、身近な外国人の友達や大人との関りを通して、様々な国の人と関わる楽しさや、様々な国の文化や言葉に関心がもてるようにしていきます。